

平戸

令和5年3月1日
横浜市立平戸小学校
〒244-0803
横浜市戸塚区平戸町 542 番地
TEL 045-821-2329
FAX 045-826-2005



学校 HP、
校長室だよりが更
新されています。ぜ
ひご覧ください。



小さな返事の 大きな意味

校長 若色 昌孝

すでに子どもたちには朝会の話の中で伝えたことですが、改めて、保護者や地域の皆様にもお伝えしたくて書かせていただきます。

平戸小の子どもたちは気持ちのよい子たちで、私は毎日のように、ほめる言葉や感謝の言葉を伝える場面がたくさんあります。とてもうれしいことです。

でも時に、注意や改善を促す言葉を伝えることもあります。

(廊下を走る子に)「廊下は走らないよ。」「(止まって) はい。」

(登校が遅れてしまった子に)「遅れちゃったね。明日は、5分早く来ようね。」「はい。」

(上履きのかかどをつぶして履いている子に)「転びやすいから、かかと入れようね。」「はい。」

平戸小の子どもたちは、この、「はい」が言える子が多いのです。人から注意を受けるといことは、面白いことではありません。また、何か事情があって、私の言っていることがその子の事情を察していないこともあるでしょう。でも、まずは、「はい。」という言葉で私の言葉を受け入れてくれます。大人の私だって、おへそが曲がっているときには、素直に受け入れられないときがあるというのに…。

「はい。」という一秒にも満たない小さな返事ですが、この返事には大きな意味があると思うのです。人からの注意や助言を素直に受け入れられるということは、その子の可能性が大きく開かれることだと私は考えています。人の声をまずは受け入れ、そして考え、自分なりに自分の行動を変えていく…。この繰り返しで、子どもはどんどん成長していくと信じています。

その子のよいところをたくさん見つけそれを伝えること、その子の行いに感謝しその気持ちを伝えること、そして時には改善を求め、声をかけること。いくら時間があっても足りないのですが、こうして子どもたちとかかわれる時間を大切にしたいと思うのです。



丁寧にそうじに取り組む6年生